

# HEPATOLOGY NEWS

## 肝胆膵病態内科学ニュース

第16・17合併号 2020年6月 発行

### 巻頭言



新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症の蔓延により皆様非常に窮屈な生活を送られていることと存じます。1世紀に1度あるかないかの危機とされていますが、ウイルスという目に見えない相手だけに油断ができません。日本は比較的感染者も少なく抑えられていますが、世界の状況は散々なものです。知り得る情報によると、有効なワクチンが開発されるまでは2年近くかかり、特異的治療薬の開発にも相当な時間がかかりそうです。今のところ、緩徐に「集団免疫」されて、ウイルス侵入に対する自己免疫で戦うしかありませんが、「新しい生活様式」と言われるように、今までの、ともすると忙しすぎた生活を見直す時期に来ているのかもしれませんが。医療現場も今後様々な変革を求められると推測いたします。

さて私事ですが、4月1日をもちまして大学院医学研究科長・医学部長を拝命しました。着任早々新型コロナウイルス感染症で学生講義はWebになり、臨床実習は自習、研究も可能な限り自粛という状況で、今までにない経験をしています。勿論、学会や講演会も皆無で、教授室に閉じこもりです。しかしながら、Zoomという



Web会議の有意義さを実感もしていますし、じっくり読めなかった新聞や論文を読む時間が持てます。また、自宅でのトレーニングで日頃鍛えていなかった筋肉もついてきました。

大阪市立大学としては、大阪府立大学との合併を2年後に控え、近日中に新大学の名前が公表されると聞いています。医学部としても「住吉市民病院跡地」に作る予定の新施設の計画が進んでおり、着々と新時代へ向けてプロジェクトは進んでいます。コロナ禍の日々ではありますが、健康の管理をしつつ、次を見据えた行動をとるべきなのだろうと考えています。

（河田 則文）

### Contents

巻頭言	1
イベント開催報告	2
企画・開催の案内、Topics	3
着任挨拶	4
新入医局員紹介	5
スタッフ紹介	5
肝がんサーボードを模様替え	6
腹部超音波検査講習会について	6
2019年度 Medical Cafe受賞者メッセージ	7
大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵内科 外来表	8
医局HPとFacebookのご紹介	8
編集後記	8

## イベント開催報告 日本肝臓学会近畿地区市民公開講座

2019年7月28日(日)、TKP心斎橋駅前カンファレンスセンターにおきまして、世界肝炎デー(日本肝炎デー)にあわせた日本肝臓学会主催の近畿地区市民公開講座を開催いたしました。

世界肝炎デーとは、2010年にWHOがウイルス性肝炎の蔓延防止と、患者さんに対する差別・偏見の解消を目的として定めたものです。日本でも2012年より厚労省が同日を日本肝炎デーと定め、各地で啓発活動が行われています。日本肝臓学会では毎年、肝炎デーに全国5地区で市民公開講座を開催しています。当科でも2015年より肝炎デーを含む肝臓週間に、「おおさか肝炎デー」と題した啓発イベントを行ってまいりました。本年は日本肝臓学会より委嘱を受け、当院が共催として近畿地区市民公開講座をお世話させていただくこととなりました。これは当科のこれまでの活動に学会からもご評価をいただいたものと、大変光栄に感じております。

講座の内容としましては、大阪市立総合医療センターの木岡清英先生より「飛躍的に進歩したB型・C型肝炎治療」、もりかわ内科クリニックの森川浩安先生より「脂肪肝と言われました。どうしますか?」、当科の打田佐和子先生より「肝臓を画像でみてみよう!」、阪和住吉総合病院の矢田豊先生より「肝臓がん治療も進歩しています」というタイトルで分かりやすく講演いただきました。恒例のトークセッション「『のり』とおしゃべりしよう!」では参加者から寄せられた質問に対して演者の先生方がアドバイスを解説を行いました。生活科学部食品栄養科学科・羽生大記先生の全面協力のもと食育SATシステム体験、元山宏行先生はじめ医局員によるFibroScan体験など参加型の企画も盛りだくさんご用意いたしました。当日、行ったアンケートを集計した結果でも感謝の言葉が多数寄せられるなど概ね好評で、160名を超える参加者は大満足で帰られたことと思います。

関連施設の先生方・メディカルスタッフ・患者様におかれましては多数ご参加いただき、盛会に終えることができましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。お蔭さまで当科の公開講座はいつもご好評をいただいております。リピーターも多く、一方、新規患者さんの発掘にも繋がっています。この原稿執筆時点では新型コロナウイルス感染の先行きが見通せず、今年は同様の企画が困難と思われるかもしれませんが、今後とも変わらずご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。(榎本 大)



## イベント開催報告 JSH International Liver Conference 2019

2019年10月1日、2日の2日間、河田会長・國分副会長(新百合ヶ丘総合病院)の下、大阪国際会議場にてJSH International Liver Conference 2019を開催致しました。お蔭さまで参加者277名の内、海外からは12ヶ国、41名(ベトナム11名、アメリカ合衆国7名、韓国6名、中国5名、台湾3名、オーストラリアとスペインから各2名、イギリス、オーストリア、フランス、インド、ナイジェリアより各1名)の参加があり、国際カンファレンスと呼びに相応しい会となりました。

本学会は、日本肝臓学会が主催する国際カンファレンスです。1998年に谷川久一先生が企画されました国際肝硬変・肝癌シンポジウムに端を発します。今回、グローバル化の流れに沿って名称を変更し、第一回目の開催となりました。今回のテーマは



Liver Cirrhosis and Portal Hypertension: Modern Pathophysiology and Emerging Therapiesでした。エキスパートによる招聘講演50題、一般口演18題、一般ポスター発表70題、ランチョンセミナー4題、イブニングセミナー2題、モーニングセミナー2題であり、3会場にて活発な討議が行われました。講演では、門脈圧亢進の評価方法(バイオマーカーの開発・肝硬度測定法・経皮的門脈圧測定法)の進歩により、詳細な病態診断が可能になっていることが提示されました。また静脈瘤治療・血栓治療・肝性脳症/腹水対策においても移植以外の成績が明らかにされました。最後に懇親会は行き先不明のミステリー・クルージングとなり、河田会長の熱演で最高潮に達しました。

(田守 昭博)

## // 企画・開催の案内 APASL Single Topic Conference 2021 Osaka



本年9月に河田主催で開催を予定しておりました APASL STC 2020大阪が、この度の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ延期とさせていただきますが、来年、2021年9月2-3日の両日、ヒルトン大阪にて開催することが決定致しました。

本学術集会では、『Molecular and Cell Biology of the Liver』をメインテーマに、肝臓を専門とする研究者が一堂に会し、肝臓病および関連領域に関する基礎的および臨床的な面から様々な議論を重ね、肝臓病の根治を目指すべく最先端の知識と経験の交流を予定しております。

海外の第一人者を招聘し、また日本のオピニオンリーダーにも参加いただき盛会にすべく、教室一同鋭意準備を進めております。多数の演題をお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

先生方のご支援ご鞭撻の程よろしくお願い致します。 (松原 三佐子)



プロモーション動画はこちら

## // Topics 留学報告

Dear All,

It has been more than 6 months since I moved to Australia. Following 6 years of clinical practice in Japan, I enrolled in the graduate school of medicine in the University of Sydney to pursue a doctoral degree in October 2019. The University of Sydney, the oldest university in Australia, has world-leading medical school and my supervisor, Professor Jacob George, is a prominent hepatologist with a particular interest in non-alcoholic fatty liver disease. I am greatly pleased to join such a highly active research community.

After being devastated by one of the worst bushfires that continued during almost the entire summer, the nation is currently under social lockdown to struggle against the outbreak of COVID-19. Although the government measures were successful in repressing the initial wave of infection with little impact on my daily lifestyle, it is unfortunate that most new research projects, including mine, are postponed and I cannot report any progress so far.

Finally, I would like to pay respect to the physicians and staffs who are coping with the COVID-19 crisis in Japan. I wish we could overcome this challenging situation and hope to see you in the near future.

Sincerely,

Maito Suoh



## // 着任挨拶

病院講師

小塚 立蔵

(こづか りつそう)

2020年4月より肝胆膵内科で勤務させていただくことになりました小塚立蔵と申します。B型・C型肝炎ウイルスの遺伝子解析、宿主遺伝子多型、肝発癌予測などを中心に研究を行っています。

また、2018年4月からの2年間、厚生労働省に人事交流で出向し、B型肝炎訴訟対策室・肝炎対策推進室で医系技官として勤務する貴重な機会をいただきましたので御報告致します。

本邦ではB型・C型肝炎訴訟で国が敗訴し、原告と和解したことを契機に、全てのウイルス性肝炎患者を支援するために肝炎対策基本法が制定された経緯があり、1年目は原告団・弁護団と実際に裁判で争うB型肝炎訴訟対策を担当しました。

2年目は、①肝疾患治療の促進、②肝炎ウイルス検査と重症化予防の推進、③地域における肝疾患診療連携体制の強化、④国民に対する正しい知識の普及、⑤研究の推進の5本柱で「肝炎総合対策」を推進するための政策決定に関与させていただきました。

厚生労働省で勤務する中で、本邦ではウイルス性肝炎患者を支援するさまざまな助成制度がありますが、本来受けるべき患者に必ずしも届いているわけではないことが実感されました。今後は厚生労働省での勤務経験を生かし、行政研究にもフィールドを広げたいと考えています。

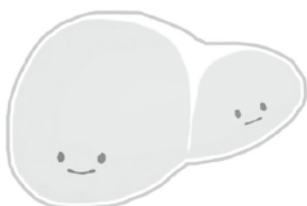


前期研究医

野々村 綾実

(ののむら あやみ)

こんにちは。野々村綾実と申します。東住吉森本病院の消化器内科、和泉市立総合医療センター肝胆膵内科での勤務を経て2020年度より大阪市立大学肝胆膵内科に戻って参りました。肝疾患治療は日進月歩であり、患者さんを悩ませてきた疾患が治癒する可能性を秘めた大変奥深い分野です。患者さんと共に歩みながら医師として日々精進を重ねていく所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



## // 新入医局員紹介

前期研究医  
林下 晃士  
(りんか こうじ)

2019年に入局した林下晃士と申します。

肝胆膵内科に入局した経緯としては肝臓の腫瘍に興味があったことが一番の理由ですが、医局の雰囲気がとてもよいくらい環境で仕事、勉学に打ち込めるため入局しました。現在の目標としては腫瘍の早期発見に少しでも寄与できればいいと考えています。これからいろんな知識を吸収し、経験していくことで患者さんに信頼される医師になりたいと考えています。これから一所懸命に頑張ります。



前期研究医  
岡田 真穂  
(おかだ まほ)

令和2年度新入医局員の岡田真穂と申します。以前より癌治療・検査に携わりたいと考えておりましたが、BSLや初期研修を通じて、再発や進



行の速さにより発見や治療に難渋することの多い、肝胆膵領域の腫瘍の検査や治療の重要性を痛感し、肝胆膵を診る医師を志すようになりました。このたび、専門的な知識や技術を身につけるべく、入局させていただきました。腫瘍だけでなく、急性疾患から慢性疾患まで幅広く学び、諸先生方の優れた技術や英知を吸収して、患者さんにより良い医療を提供できる医師になれるよう邁進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

## // スタッフ紹介

大学院生  
Ngo Vinh  
Hanh  
(グオ ウィン ハン)

Greetings, everyone. My full name is Ngo Vinh Hanh. I'm 27 years old. I have graduated from Military Medical University in 2017 and my major is general practitioner.

After that, I spent 2 years working in Center for Gene and Protein research of Hanoi Medical University, specializing in Cell Culturing for Autologous Immune Enhancement Therapy.

I really appreciate the opportunity to come our laboratory-which belongs to the top liver disease research institutes in Japan not only for studying, but also for experiencing the professional working environment.



It has been 6 months since I started working here. Beside a variety of new techniques as well as modern facilities, I also has chances to approach the effective ways of thinking through professor, experienced researchers and talented young doctors. Coming there also provides me an environment to connect to other colleagues all over the world to learn more from them. Since my country has long been suffering from high incident and mortality rate of chronic liver diseases such as liver fibrosis, chronic viral hepatitis or hepatocellular carcinoma, searching for a method to calm the situation down has been put into priority, making the chance of becoming a Ph.D. student here appeared more precious. I treasure all the moment and knowledge I have gained under everyone kind guidance from the beginning. Thank you very much, I will try my best in the future.

## // 肝がんボードを模様替え

肝がんボードを、毎週金曜日17時より放射線科読影室にて開催しておりますが、若干の模様替えをしたのでお知らせいたします。2018年度までは、各部門（肝胆膵内科、肝胆膵外科、放射線科、化学療法センター、病理部、看護部、薬剤部、栄養部）が集まってミニ講義を聴いて知識を深めることに重点を置いておりました。格調が高く、治療方針に困っている患者さんについての相談をするには、やや敷居が高いとの声がありました。そこで相談症例の提示を会の中心とし、開催頻度も要時ではなく毎週開催としました。科の垣根を越えての相談がし易くなったと好評です。

（萩原 淳司）

## // 腹部超音波検査講習会について

腹部超音波検査講習会は、あべのメディックスビル8階にある大阪市立大学医学部スキルスシミュレーションセンター（SSC）において、当科主催で行っている主に研修医や医学生を対象とした講習会です。2008年より打田先生とともに講習会を立ち上げ、若手の先生方を中心にインストラクターを引き受けていただき、早くも12年目となりました。

受講したのべ人数も722名（2008年～2019年）に達しており、この講習会を経験してから当科に入局した先生方もいます。もともとの立ち上げのきっかけは「肝胆膵内科はどんな診療や活動をしているの?」「超音波検査は白黒でよくわからない。」などの声があり、研修医の勧誘も兼ねて、肝胆膵内科のプレゼンス（存在感）を示すために始めたものだったと思います。結果的に、「教えることは学ぶこと」になり、若手のエコースキルレベルのボトムアップにもつながっていると思っています。

2019年度より、さらなる発展のため『初心者講習会』と『Hands-on seminar』の2本立てで行っています。『初心者講習会』はこれまでと同様に、初めて腹部超音波機器を触る初学者を対象に行っており、超音波トレーニングモデルECHOZY®を用いて、手取り足取り楽しく講習会を行っています。一方、『Hands-on seminar』では、より深く腹部超音波検査を学びたい経験者を対象に、「肝胆膵内科の手の内を魅せる」ために行っています。超音波検査装置1台につき1-2人と少人数制とし、互いの腹部にプローブを当てながら丁寧にわかりやすい実技セミナーとなっています。また2019年12月18日に『オープン THE 肝臓』と称して肝胆膵内科の魅力を伝えるべく腹部超音波検査講習大会を行い、総勢23名もの研修医・学生に参加していただきました。内容としては、①15秒以内に課題の画像を描出するブース、②ファントムモデルを使ったラジオ波焼灼術体験ブース、③RVS（Real-time Virtual Sonography）などを実際に体験してもらうブースを設け盛況のうちに終わりました。

最後になりましたが、立ち上げ時にご指導いただきました打田先生、インストラクターとして一緒に頑張ってくれた医局の先生方にはこの場を借りて深謝いたします。これからも講習会を通じて、肝胆膵内科に興味をもって入局してくれる先生が増えるよう、さらに発展させ盛り上げていきたいと思っています。

（元山 宏行）



## // 2019年度 Medical Cafe 受賞者メッセージ

### 河田賞受賞

この度は素晴らしい賞をいただきありがとうございます。いただいた時は驚きと喜びを感じました。自己主張や個性のある発表を!という要望を受けて、苦し紛れに英語でプレゼンテーションをしてみました。自分の中ではインパクトが足りないなと思っていました。個性ある素晴らしい発表がたくさんあったため、まさか受賞できるとは思っておらず飲み会を欠席してしまったのが悔やまれます。

今回の受賞はとても励みになりました。いつか再び受賞できるように自分の持ち味を見つけていけるよう精進いたします。

(松本 一寛)



### 敢闘賞受賞

Annually, all members of our Department spent one day for special seminar (beside to weekly seminar). Each doctor/student gave a presentation about 1 year activities! What we have studied, archived, contributed in work and life. We know each other well after this seminar! We are closer after this seminar. Especially, this year, Vietnamese team got the "Good Study Award" from our professor Norifumi Kawada. This award recognized us as a good team work. We concentrated to study about the effect of our own produced recombinant human CYGB in liver fibrosis and also in pancreatic diseases, and investigate the immunological response in HCC patients. Well, this award helps us getting and staying motivated in 2019! Let enjoy working here in this Dept. of Hepatology! Thank you for all the members of this department for their great help always!



(Team Vietnam : Le Thi Thanh Thuy )

## 大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵内科 外来表

	月	火	水	木	金
5 診	榎本 大	田守 昭博	河田 則文	榎本 大	田守 昭博
6 診	元山 宏行	打田 佐和子	打田 佐和子	藤井 英樹	西口 修平
7 診	小塚 立蔵	萩原 淳司	川村 悦史	小塚 立蔵	萩原 淳司
8 診	小谷 晃平	小田桐直志	小谷 晃平	小田桐直志	元山 宏行

大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵内科 ☎(06)6645-2121(代表)

初診受付：午前9時～午前10時30分 休診日：土日祝日、年末年始

肝胆膵内科では紹介状持参の上、初診受付時間内にお越しいただけたら当日、診察いたします。

大阪市立大学医学部附属病院 MedCity21 ☎(06)6624-1324

【完全予約制】電話受付時間：月～金 午前9時～午後4時30分

## 医局 HP と Facebook のご紹介

肝胆膵内科では、近日、医局 HP をリニューアル予定です。

デザインを一新し、医局の案内やイベント情報など盛りだくさんの内容をこれまで以上に分かりやすくお伝えしています。

Facebook と併せて、ぜひご覧ください！



医局 HP：リニューアル後のトップページ

<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/liver/>



医局 Facebook

<https://www.facebook.com/ocum.hepatology>

## 編集後記

久しぶりの発行となってしまいましたが、医局には新しいメンバーが続々加わってきています。さらに活気あふれる肝胆膵内科をよろしくお願い致します。

(A.H)

## HEPATOLOGY NEWS

肝胆膵病態内科学ニュース

第16・17合併号 2020年6月 発行



発行者 / 大阪市立大学大学院医学研究科

肝胆膵病態内科学

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

TEL: 06-6645-3905 FAX: 06-6635-0915

編集委員 / 萩原 淳司